



## 和歌山の森を、守り育てる。

和歌山県は県土の約76パーセントを森林が占め、  
現在民有林面積の約61パーセントが人工林となっており、  
利用可能な資源は成熟しています。

和歌山県は古くから「紀州・木の国」と呼ばれ、  
優れた木材を生み出す林業地として位置づけられてきました。  
紀州材は、豊かな表情、あたたかい手触り、爽やかな香りがあり、  
住宅用の木材としてだけでなく、家具や雑貨にもふさわしい木材です。  
ぜひ紀州材をあなたの暮らしの一コマに添えてみてください。



## 森林保全のサイクル

紀州材を活用した商品を購入することが  
和歌山の森林を元気にすることにつながります。



森林は、CO<sub>2</sub>の吸収のほか、地下水を豊かにするなどの水源のかん養、土砂災害の防止、木材・キノコ・山菜といった林産物の供給、保健休養の場の提供など、私たちにとって欠かせない役割を果たしています。こうした健全な森林の育成のためには、木材を使用することが必要です。

「植林」→「育林(間伐などの手入れ)」→「(成長した木を)伐採」→「利用する」、そしてまた「植林する」というサイクルを回していくことが重要なのです。